

予算特別委員会

●質疑者

6月17日(月)



こちらから▲録画映像をご覧いただけます。

- 石塚 隼人 (いばらき自民党)
- 山本 美和 (公明党)
- 長田 麻美 (日本維新の会)
- 秋元 勇人 (いばらき自民党)
- 櫻井 信幸 (茨城無所属の会)
- 高安 博明 (国民民主党)
- 川口 政弥 (いばらき自民党)

https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=168

く、総合型選抜なども活用し、生徒の希望に応じた進学を支援していく。(ほかに、県立高校の学校図書館、建築物等震災対策事業なども質疑)

長田麻美委員(維新) 昨年6月に牛久沼が越水した要因とそれに対する県の対策は。また、ハード対策の今後のスケジューリングは。

土木部長 牛久沼越水対策検討委員会において、越水の主要因は経年的な地盤変動による堤防の沈下と確認されたため、県では堤防のかさ上げや監視カメラの設置など、ハード・ソフトが一体となった対策を進めている。ハード対策は、現在、測量や地質調査を実施しており、今後1年程度を要する詳細設計が完了次第、工事に着手していく。(ほかに、リスクリングの推進、教員の確保および働き方改革なども質疑)

秋元勇人委員(自民) 本年4月に「茨城県再生資源物の屋外保管の適正化に関する条例」が施行されたが、課題となる既存の屋外保管ヤードへの対応にどのように取り組むのか。

県民生活環境部長 既存事業者などへの説明会の開催や把握した全ての既存ヤードへの直接訪問など、条例の周知徹底に取り組むとともに、指導員の増員など立入検査体制を強化した。今後、保管基準などの遵守や期限内の届け出提出の指導、改善命令などの行政処分により、適正な対応を図っていく。

(ほかに、中学校の部活動の地域移行、外国人材関連事業の拡充なども質疑)

櫻井信幸委員(茨無会) 最低賃金のさらなる引き上げにどう取り組むのか。

産業戦略部長 本県は、経済実態を示す総合指数が全国9位に対し、最低賃金額が全国15位にとどまっているため、

最低賃金の決定を担う茨城労働局などに対して経済実態が正しく反映されるよう働き掛けていく。一方、企業の収益力強化に向けた支援も重要であるため、事業場内の最低賃金を一定額以上引き上げ、生産性向上に資する設備投資を行う企業へ助成することなどにより、賃上げを後押ししていく。(ほかに、健康寿命の延伸、軽小型消防自動車の導入促進なども質疑)

高安博明委員(国民) 昨年6月に巡回連絡を活用した高齢者総合安全対策の推進が開始した。今年6月から対象世帯の拡大に取り組むとしているが、1年間の成果と今後の取り組みは。

警察本部長 約49万3千世帯を訪問し、二七電話詐欺被害防止対策や歩行者事故防止対策などでさまざまな成果が出ている。自転車盗や新車の犯罪による被害が幅広い年齢層に生じているため、今年6月から、3年で県内123万世帯の一巡を目標に、対象者の年齢などに応じた働き掛けを実施している。(ほかに、医師の働き方改革、運送業の業務効率化支援なども質疑)

川口政弥委員(自民) 地元の取手市双葉地区では、昨年の大雨で浸水被害を受けた。再び出水期を迎えるに当たり、住民の不安払拭のため、県は、農業用排水路対策にどう取り組むのか。

農林水産部長 県では、湛水被害防止を目的とした土地改良施設の整備に対し、補助率を上げる措置を講じた。本年度も、市からの同地区周辺の農業用排水路のかさ上げ要望に対し、県は、必要な予算を確保する。今後も市や土地改良区からの相談内容に応じ、関係部局と連携して必要な対応をしていく。(ほかに、貨物運送事業者等における運送業2024年問題対策なども質疑)

令和6年度6月補正予算案が可決

災害発生時においても機能維持が必要な医療・社会福祉施設への再生可能エネルギーの導入や、木造住宅に対する耐震診断の促進など、防災・減災対策の強化を図るとともに、人口減少や人手不足などの課題に対応した事業構造の転換などを促進するために必要な予算を計上した令和6年度6月補正予算案(12億2300万円の増)が可決されました。

6月補正予算に計上された主な事業

- 1 防災・減災対策 4億8800万円
 - 新 再生可能エネルギー導入レジリエンス強化関連事業(災害発生時に機能維持が必要な病院などにおける再生可能エネルギーの導入支援)
 - 建築物等震災対策事業(旧耐震基準の木造住宅における耐震診断の実施経費に対する補助)
- 2 事業構造の転換等の促進 7億3500万円
 - 新 運送業2024年問題対策関連事業(貨物運送・乗合バス事業者が行うDXなどによる業務効率化に対する支援)
 - 新 重点市場インバウンド誘客促進事業(ゴルフツーリズムやプロモーションによる観光事業者(宿泊・交通事業者など)の支援)
 - 新 花絶景観光支援事業(花絶景を切り口としたコンテンツ造成支援など国内外からの誘客の促進)

休日議会を開催しました

県民の皆さまに議会活動を身近なものと感じていただき、その理解と参画を推進するため、6月8日(土)に「休日議会」を開催しました。令和3年第4回定例会に第1回を開催して以降、年に1回開催しています。

4回目となる今回の休日議会では、本会議を開き、3名の議員が一般質問・質疑を行う様子を370名の方々に傍聴していただきました。

開催に当たりましては、議会を傍聴しやすくするための取り組みとして、親子傍聴席の設置に加え、昨年度に引き続き議事室内で託児サービスを実施しました。



託児サービスの様子



傍聴席と本会議場の様子